

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320219	X-21-B-2-320219	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

高度な語学運用能力を身に付けます。具体的には以下の通りです。
ロシア語3に引き続き同じテキストの30~36課をもって文法、語彙、会話法をマスターするように心がける。文法の練習問題などは教員が用意する。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 第30課 名詞変化のまとめ(1) 硬変化と軟変化 男性・中性変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第2回 【授】 第30課 名詞変化のまとめ(1) 女性変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第3回 【授】 第30課 名詞変化のまとめ(1) -ьに終わる女性名詞、および-мяに終わる中性名詞の変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第4回 【授】 第31課 名詞変化のまとめ(2) 硬変化語尾、軟変化語尾 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第5回 【授】 第31課 名詞変化のまとめ(2) -мяに終わる中性名詞の複数変化、мать(母) дочья(娘)の格変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第6回 【授】 第32課 代名詞変化のまとめ(1) 1・2人称代名詞の格変化、3人称代名詞の格変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第7回 【授】 第32課 代名詞変化のまとめ(1) 代名詞 чтоとктоの格変化、年齢の表現 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第8回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ 硬変化と軟変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p>	<p>第9回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ русский型とхороший型の変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第10回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ 語尾にアクセントをもつ形容詞の変化、形容詞の形をした名詞の格変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第11回 【授】 第34課 代名詞変化のまとめ(2) 形容詞的代名詞、所有代名詞の整数格変化、指示代名詞の変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第12回 【授】 第34課 代名詞変化のまとめ(2) весьとодинの性数格変化、весьとодинの用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第13回 【授】 第35課 形容詞の短語尾形 長語尾形と短語尾形、短語尾形の注意すべき用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第14回 【授】 第36課 動詞の体(4) 体の形成の一般原則、例外的な体の形成 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第15回 【授】 第36課 動詞の体(4) 移動の動詞の体 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第16回 【授】 期末試験 【前・後】 試験準備</p>
---	---

成績評価方法

授業態度・授業への参加にて30%、定期試験によって70%の成績を評価する。定期試験は、ポータルや掲示板にて平均点などを公表し、講評を加える。

教科書・参考書

佐藤純一著『新ロシア語入門』、NHK出版、2001年。

受講に当たっての留意事項

・この授業では、前回の授業の復習をかねた小テスト(復習テスト)を授業の最初に実施します。この小テストは、あくまで出席を取る代わりに行われるもので、小テストの点数自体は成績には直接反映されません。前回の授業で自分がどのくらい理解したのかを知る目安にしてください。小テストの内容については、各授業の終わりに毎回指示します。なおこの小テストをもとに中間試験・期末試験を実施します(試験時は持込み不可)。
・欠席が三分の一以上になると受験資格がなくなります。なお2回の遅刻で1回の欠席とみなします。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	これまでのロシア語新聞翻訳等の実務経験などを基に、文法だけでなく、ロシアの様々な歴史や文化についても指導する。	○

学習到達目標

名詞や代名詞、形容詞の格変化を習得するとともに、形容詞の短語尾形や動詞の体についてさらなる理解ができるようになることを目標とする。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320219	X-21-B-2-320219	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
授業目的							
ロシア語1・2・3・基礎文法の導入に引き続き、基本的な知識を整理し、発展させながらロシア語の運用能力を高めることを目的とする。文法知識を体系的に整理することを目標とし、特に「話す」「聞き分ける」能力を身に付けるための訓練には十分な時間を割く。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 テキストの第32課(1) Ему шестьдесят два года 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第2回 【授】 テキストの第32課(2) Ему шестьдесят два года 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第3回 【授】 テキストの第33課(1) В булочную вошла маленькая девочка 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第4回 【授】 テキストの第33課(2) В булочную вошла маленькая девочка 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第5回 【授】 テキストの第34課(1) Как дела у моего сына? 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第6回 【授】 テキストの第34課(2) Как дела у моего сына? 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第7回 【授】 テキストの第35課(1) Вы очень похожи на меня 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第8回 【授】 テキストの第35課(2) Вы очень похожи на меня 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間)				第9回 【授】 テキストの第36課(1) Один человек пришёл в ресторан 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第10回 【授】 テキストの第36課(2) Один человек пришёл в ресторан 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第11回 【授】 テキストの第37課(1) Мальчик, который гулял по платформе 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第12回 【授】 テキストの第37課(2) Мальчик, который гулял по платформе 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第13回 【授】 テキストの第38課(1) Станция, от которой мы только что отехали 本文の説明と解説 【前・後】 予習・復習(1時間) 第14回 【授】 テキストの第38課(2) Станция, от которой мы только что отехали 応用会話練習 【前・後】 予習・復習(1時間) 第15回 【授】 期末試験 【前・後】 宿題をする。文法・語彙の復習、テストの準備(2時間) 第16回			
成績評価方法							
期末試験の結果(70%)と出席率(30%)によって成績を評価する。 定期試験や授業内小テストのフィードバックとして定期試験の全般的な講評を行う。							
教科書・参考書							
①藤純一、新ロシア語入門 NHK 出版 1999 ②研究者露和辞典等 ③教員が用意した練習プリント							
受講に当たっての留意事項							
①毎回宿題あり ②欠席が3分の1を超えた場合は期末試験の受験を認めない							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	民家会社での通訳・翻訳の軽々を生かす						○
学習到達目標							
教科書の基本例文を完全に習得すること。テキストに説明されている高度な文法を習得し、文章の読解能力を身に付けること。学習者が外国旅行等際に必要に応じて簡単な会話ができること。高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること。							
JABEE							

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320219	X-21-B-2-320219	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
ロシア語4 aB(旧カリ:3年次用)				中谷 昌弘	【1-3年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

高度な語学運用能力を身に付けます。具体的には以下の通りです。
ロシア語3に引き続き同じテキストの33~38課をもって文法、語彙、会話法をマスターするように心がける。文法の練習問題などは教員が用意する。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ 変化と軟変化 русский型と хороший型の変化 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第2回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ 本文(1) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第3回 【授】 第33課 形容詞変化のまとめ 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間:1時間】練習問題および会話練習の予習復習</p> <p>第4回 【授】 第34課 代名詞変化のまとめ(2) весьと одинの変化・用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第5回 【授】 第34課 代名詞変化のまとめ(2) 本文(2) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第6回 【授】 第35課 形容詞の短語尾形 長語尾形と短語尾形 短語尾形の注意すべき用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第7回 【授】 第35課 形容詞の短語尾形 本文(2) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第8回 【授】 中間試験 【前・後】 試験準備</p>	<p>第9回 【授】 第36課 動詞の体(4) 移動の動詞の体 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第10回 【授】 第36課 動詞の体(4) 本文(2) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第11回 【授】 第37課 関係代名詞(1) которыйの変化と用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第12回 【授】 第37課 関係代名詞(1) 本文(1) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第13回 【授】 第37課 関係代名詞(1) 練習問題と会話練習 【前・後】 【必要な時間:1時間】練習問題および会話練習の予習復習</p> <p>第14回 【授】 第38課 関係代名詞(2) называть/назвать мочьの変化と用法 【前・後】 【必要な時間:1時間】文法事項の予習復習</p> <p>第15回 【授】 第38課 関係代名詞(2) 本文(2) 【前・後】 【必要な時間:1時間】本文の予習復習</p> <p>第16回 【授】 ロシア語4のまとめ 【前・後】 【必要な時間:1時間】ロシア語4全体の予習復習</p>
---	--

成績評価方法

授業態度・授業への参加にて25%、課題またはレポートにて5%、定期試験によって70%の成績を評価する。定期試験は、採点後の授業内で平均点などを公表し、講評を加える。

教科書・参考書

佐藤純一著『新ロシア語入門』, NHK出版, 2001年。

受講に当たっての留意事項

- ・この授業では、前回の授業の復習をかねた小テスト(復習テスト)を授業の最初に実施します。この小テストは、あくまで出席を取る代わりに行われるもので、小テストの点数自体は成績には直接反映されません。前回の授業で自分がどのくらい理解したのかを知る目安にしてください。小テストの内容については、各授業の終わりに毎回指示します。なおこの小テストをもとに定期試験を実施します(試験時は持込み不可)。
- ・上記15回のうち1回分を課題またはレポートで代替します。詳細については、授業中に指示します。
- ・欠席が三分の一以上になると受験資格がなくなります。なお2回の遅刻で1回の欠席とみなします。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	これまでのロシア語新聞翻訳等の実務経験などを基に、文法だけでなく、ロシアの様々な歴史や文化についても指導する。	○

学習到達目標

形容詞や代名詞の格変化を習得するとともに、関係代名詞について理解できるようになることを目標とする(ロシア語4a, 4bに共通)。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習